

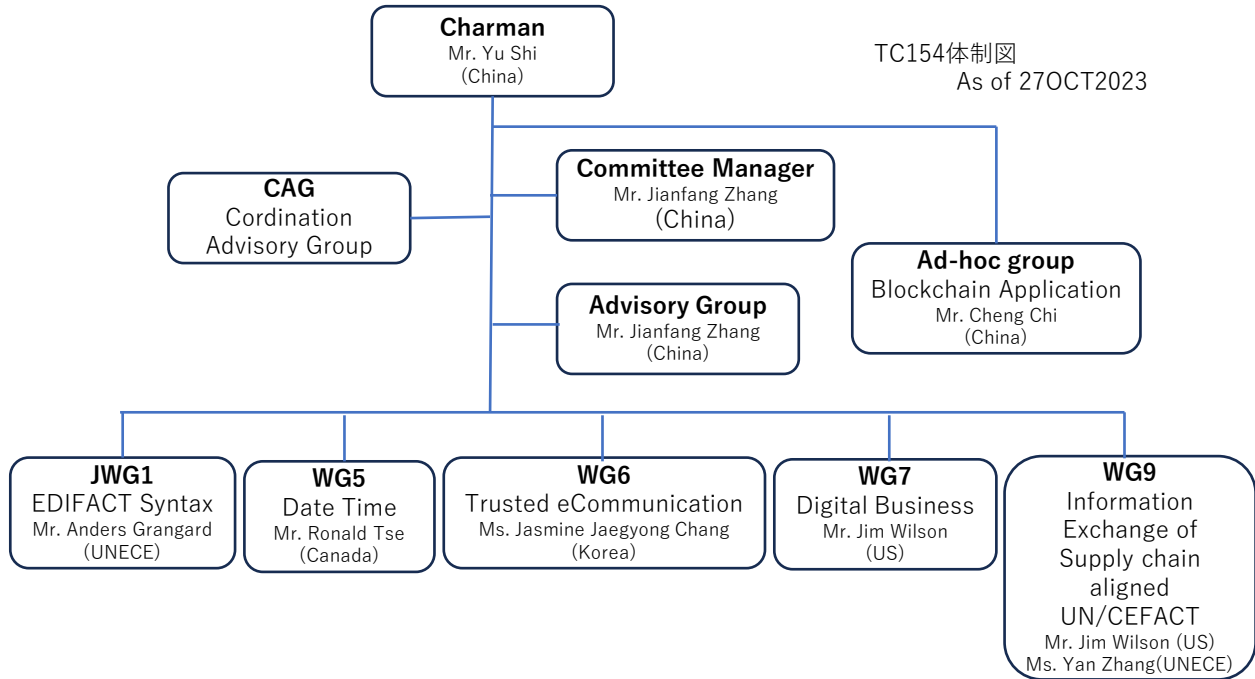
# 第 42 回 ISO TC154 総会報告

会議形式：ハイブリッド

会議場所：香港

会議期間：2024 年 10 月 24 日～27 日

TC154 (Processes, data elements and documents in commerce, industry and administration) は、商工業と行政に関わるプロセス、データ要素及び文書の標準化を担当している。現在の TC154 の体制を以下に示す。



2023 年の ISO TC154 総会は、香港の CalConnect (カレンダーとスケジューリングの標準対応ツールを提供する非営利団体) 事務所での対面形式と ZOOM によるオンライン形式のハイブリッドで開催された。Ribose, CalConnect, the Hong Kong Management Association 及び ITCHKSAR が会議開催のホストを務めた。

カナダ、中国、日本、韓国、米国及び ISO 中央事務局 (ISO CS) と国連欧州経済委員会 (UNECE) から 18 名が対面で参加し、他 17 名がオンラインで参加した。

日本からは、TC154 国内審議会にて WG1 (EDIFACT) 及び WG7 (Digital Business) 担当の菅又久直 (Head of Delegation) と WG6 (Trusted eCommunication) 担当の佐藤雅史氏、西窪健太氏がオンラインで参加した。

会議は TC154 議長の Mr. Yu Shi の采配のもとに進行された。

## 1. オープニングセッション：10 月 24 日 9:00-10:30

### 1. 1 ISO Directive Update

ISO 事務局 Technical Program Manager の Ms. Laura Mathew より、ISO/IEC Directive (指令) の変更点などの説明がおこなわれた (ISO/TC 154 N 1435)。

- ・ P メンバーが 2 回続けて投票をしないと、メンバーは非活動とみなされる。
- ・ 新プロジェクト提案 (PWI) で新 WG の設立は行えない。
- ・ WG 議長 (Convener) は国際的見地から活動する。
- ・ ゲストは 2 回以上継続して参加できない。継続する場合は国またはリエゾンの代表として参加する。

- ・ プロジェクトリーダー変更手続きの明確化。
- ・ 既存 ISO 標準の新パート提案にも NP 投票が必要。
- ・ IEC との合同作業グループについての手続明確化。
- ・ CD 投票が発信された後に、それに関する公式な議論を行ってはならない。
- ・ 技術レポート (TR) も定期的に評価する必要がある。
- ・ 標準のオンライン開発 (OSD : Online Standard Development) を推奨する。
- ・ ISO Annual Report 2023 の紹介が行われた。
- ・ TMB (Technical Management Board) 9月会合のトピックが紹介された。
  - スマートシティについての JTC1 サブコミッティが設立された。
  - スマート農業 (Smart Farming) 調整委員会で、データドリブン農業食品委員会が結成された。

### 1. 2 委員会マネージャ (CM) 報告

TC154 Committee Manager の Jianfang Zhang (China)より、TC154 委員会の次の状況につき報告がおこなわれた。(ISO/TC 154 N 1430)

- P 及び O メンバー状況
- WG 構成
- リエゾン状況
- プロジェクト進捗状況

### 1. 3 委員長 (Chair) 報告

TC154 委員長の Yu Shi (China)より CAG (Committee Advisor Group) の報告が行われた。(ISO/TC 154 N 1417)

- TC154 と UNECE との間で合同作業グループの活動に関する TOR (Terms of Reference) が合意された。(ISO/TC 154 N 1393)
- 上記に基づき JWG9 (information exchange of supply chain aligned to UN/CEFACT Semantics) が設立された。

## 2. JWG1 セッション : 2023 年 10 月 24 日 11:00-12:30

JWG1 は EDIFACT シンタックスを対象とした UNECE との合同 WG である。JWG1 Convener の Anders Grangard 氏 (UNECE) が PC トラブルで参加できなかったため、オンラインで参加した JWG1 事務局と対面で出席した菅又が共同で議事を進行した。

昨年度に完了した EDIFACT シンタックスの Part.11 (Version 3 compatible profile for version 4 of ISO 9735) 以降、新たなプロジェクトとして EDIFACT メッセージの導入ガイド策定が検討されている。新たなプロジェクトとして TS (Technical Specification) の NWI (New Work Item) 提案をすべきか、国連 CEFACT で旧 (Version 3 対応) 導入ガイドを更新し、ファーストトラックで審議すべきか議論が行われた。今回は結論がでず、JWG1 に持ち帰って改めて提案方法とすすめ方を検討することとなった。

## 3. WG6 セッション : 2023 年 10 月 24 日 14:30-16:00

WG6 は情報通信の信頼性 (Trusted eCommunication) に関わる標準を担当しており、Convener の Jasmine Jaegyong Chang 氏 (韓国) の進行で次の審議が行われた。なお、Jasmine Jaegyong Chang 氏の Convener 任期は本年 12 月までであるが、次期 Convener も当氏が継続することとなった。

### 3. 1 ISO/WD TR 19626-3

韓国の Jasmine Jaegyong Chang 氏が報告を行った。

- TR19626-3 (Trusted communication platforms for electronic documents – Part 3 : Blockchain based Implementation Guideline) の WD へのコメントは全て解決し、DTR 投票に進める予定。
- 本 TR の開発作業は ISO の OSD (Open Standard Development) プラットフォーム上で行われており、使い勝手につきユーザビリティに難点があるとの報告もあった。

### 3. 2 Revision of ISO 14533- 3:2017

日本の佐藤雅史氏が報告を行った。

- ISO 14533- 3:2017 (Long term signature profiles – Part 3 : Long term signature profiles for PDF Advanced Electronic Signatures (PAdES)) の改訂案が説明された。
- 2024 年 3 月を目途に CD 投票を行う予定。

## 4. WG5 セッション：2023 年 10 月 25 日 9:00-10:30

WG5 は日時表記 (Representation of dates and times) に関わる標準を担当しており、Convener の Ronald Tse 氏 (カナダ) の進行で次の審議が行われた。

- ISO34000 (Date and time — Vocabulary) が発行された。
- ISO 8601-2:2019/修正版 1 (Date and time — Representations for information interchange — Part 2:Extensions) は審議が終わり近々発行される。
- 以下の標準が現在作業中である。
  - ・ ISO 8601 conformance test suite の設置 (担当：BSI)
  - ・ ISO 34100, 34200, 34300 information models for reference time scales, timezones and calendars の標準化。和暦等の西暦以外の暦表現の追加も検討されている。(担当：CalConnect)
  - ・ ISO 8601-3 semantic extensions to ISO 8601-1 の標準化。(担当：CalConnect)
  - ・ Information register for ISO 34X00 series の開発。(担当：CalConnect)
- ISO8601-1 と ISO8601-2 につき、次期のシステムティックレビュー (SR) において、エラー修正などを行う予定。

## 5. AHG セッション：2023 年 10 月 25 日 11:00-12:00

TC154 におけるブロックチェーンに関わる標準化の進め方につき、TC307 との関係において、どのように対応すべきかを検討するアドホックグループ (AHG) が作られ、その検討結果報告が行われた。AHG グループのリーダーは、中国の Cheng Chi 氏である。

- AHG は TC307 との合同作業グループ (JWG) の設置を推奨する。JWG のスコープは次の通り。
  - ・ 商工業及び行政におけるデータ交換アプリケーションでブロックチェーンを使用する場合の技術要件とデータ要素の標準開発と保守を行う。
  - ・ ただし、TC154 と UNECE との合同作業グループが扱うものは除外する。
- ブロックチェーン技術による新たな商工業及び行政におけるデータ交換アプリケーションを検討するにあたっては、次の方針を考慮すべきである。
  - ・ ブロックチェーンに基づく業界データストレージの一般要件を考慮する。
  - ・ 製造サプライチェーンで使用するブロックチェーンに基づくデータアクセス一般要件を考慮する。
- なお、クローズングセッションにおいて TC307 へ合同作業グループ (JWG) 設置提案の是非につき議論が行われた。TC154 には多数のブロックチェーンプロジェクトが複数の WG に散在し、JWG を設置しても作業の

進め方で混乱をきたす恐れがある。プロジェクトごとに方針をまとめて、現状の体制からの移行案をまとめてから TC307 への JWG 設置提案を検討することとなった。

#### 6. JWG9 セッション：2023 年 10 月 25 日 14:00-15:15

TC154 と UNECE との合同作業に関わる付帯条項 (Terms Of Reference) の合意にもとづき、新たな合同作業グループ (JWG9) が設置され、第 1 回目の会合が開催された。

- JWG9 の名称は「国連 CEFACCT セマンティクスに整合するサプライチェーン情報交換 (ISO/UNECE joint working group for information exchange of supply chain aligned to UN/CEFACT semantics)」とする。
  - JWG9 の体制は次の通り。
    - ・ 共同 Convenor (UNECE) : Ms. Yan Zhang
    - ・ 共同 Convenor (TC154) : Mr. Jim Wilson
    - ・ 秘書 : Mr. Kevin Bishop
  - 当面、JWG9 は以下のプロジェクトを担当する。
    - ・ ISO20197-1 BSP RDM BRS (Buy-Ship-Pay Reference Data Model Business Requirement Specification) : UNECE からのファーストトラック提案。
      - ◇ プロジェクト共同リーダー (UNECE) : Mr. Zisis Palaskas
      - ◇ プロジェクト共同リーダー (TC154) : Ms. Sue Probert
    - ・ ISO5909 : ブロックチェーンで交換する電子 BL プロジェクトで、現在、UNECE サイドの開発推進承認待ち。
    - ・ ISO23355 : 物流サービスプロバイダー間のデータ交換標準、現在 DIS 投票完了。
    - ・ ISO7372/TDED (Trade Data Element Directory) : 貿易手続きの基本となるデータ要素標準で、国連 CEFACCT の他、ICC、WCO、UPU など貿易関係国際機関が採用している。しかし 2005 年版以来更新されておらず、そのメンテナンスを進めるプロジェクトが提案された。
      - ◇ プロジェクト共同リーダー (UNECE) : Ms. Hanane Becha
      - ◇ プロジェクト共同リーダー (TC154) : Mr. Xiang Wang
- なお、TDED 改訂プロジェクトのキックオフとして、現状の内容についての解説も併せて行われた。

#### 7. WG7 セッション：2023 年 10 月 26 日 9:00-15:00

WG7 はビジネスのデジタル化 (Digital Business) に関わる標準を担当しており、Convenor の Jim Wilson 氏 (米国) の進行で次の審議が行われた。なお、中国の Wengqu Chen 氏が WG7 の秘書として指名された。また、Jim Wilson 氏の Convenor 任期が 2023 年末で終了することになるが、本総会にて Jim Wilson 氏の次期 Convenor 継続が決められた。

- ISO5054 (Specification for an enterprise canonical model : エンタープライズ正規モデル) につき以下の報告があった。
  - ・ Part-1 (Architecture) は ISO5054 全体像と他のパートの概要を紹介するもので、今年 IS (国際標準) として公開された。
  - ・ Part-2 (Application of ISO 15000-5) : 2024 年早々に NWI として申請される予定。
  - ・ 以下のパートはファーストトラック申請予定 (OASIS にて開発中)。
    - ◇ Part-3 (Document content)
    - ◇ Part-4 (Platform content)

◇ Part-5 (XSD representation)

◇ Part-6 (JSON schema representation)

- ISO20191 (Carbon data interoperability) の Part-1 (Framework) の PWI (Preliminary Work Item) が中国の Yu Shi 氏により進められている。当プロジェクトは OSD (Online Standard Development) プラットフォームで進められる予定。
- TR 20194 (Digital trade - Basic concepts and key initiatives) の PWI が中国の Xin Yao 氏によって進められている。ISO 事務局より、原案に Glossary が含まれているが、TR に Glossary を含めることはできないとの指摘があった。IS か TS (Technical Specification) にするか検討を行うことになった。
- ISO20195 (Technical requirements for blockchain implementation in industrial internet) の PWI が中国の Cheng Chi 氏によって進められている。Industrial internet は大量データ (設計情報) も扱い、交換頻度が高くないことからブロックチェーンで扱うのは適切ではないとの意見も出されている。
- ISO20180 (Guidelines on risk-based product quality data interchange in ecommerce) の PWI が中国の Yang Wu 氏によって進められており、近々 NP 投票にかけられる予定。当プロジェクトは Food Safety を対象として考えられている。なお、原案で定義しているデータ項目につき、国連 CEFACT の CCL への登録を行うよう提言があった。
- ISO16320 (Smart contract-based B2B electronic transaction execution and verification) の Part-1 (Reference Model) が韓国の Youngkon Lee 氏によって進められている。本件は、1 回目の NP 投票が行われたが、参加国が規定の 5 か国に足らず不成立となった。日本 (菅又が参画する予定) 及びカナダが参加国として新たに名乗りを挙げたので、2 回目の NP 投票が行われる予定。

#### 8. TClevel セッション：2023 年 10 月 26 日 9:00-12:00

TC レベルの新プロジェクトとして、Vocabulary for locations related to trade and transport (貿易運輸の場所に関わる語彙) プロジェクトの提案が、中国の Wenfeng Sun 氏より行われた。

- ・ 現在の UN/LOCODE は、都市 (City) を核として港、空港、鉄道駅などの機能が追加されている。また、BIC container terminal codes、SMDG facility codes、IMO facility codes などがサブコードとして使われている。
- ・ しかしながら、都市 (Area、City、Town など) の概念は国により異なり、また物流関連機能コードも発行機関により輻輳している。これらを整理統合したモデルを策定し、必要なコード体系を新たに策定しようと言う提言が行われた。
- ・ 審議の結果、当件につき新たな ISO 標準化活動を開始することが合意された。

#### 9. クロージングセッション：2023 年 10 月 27 日 9:00-16:30

リエゾン報告及び各作業グループ報告が行われ、引き続き決議案 (Resolution) の審議に基づき、添付 1 の Resolution が合意された。決議案審議の中で、リエゾン (from TC154, to TC154) の可否を審議するために新たにアドバイザーグループを設置することが合意された。

なお、次回 TC154 総会は 2024 年 10 月に韓国で開催されることとなった。

**Resolutions of the 42<sup>nd</sup> plenary meeting of ISO/TC 154**  
**2023-10-27**

**Resolution 2023-01** Six-months limit date extension for ISO/DIS 23355.

TC154 approves a 6-months project limit date extension for ISO/DIS 23355 as per the result of voting on Document N1385 as **Resolution 2023-01**

TC 154 plenary restates the resolution by referring to the voting result shown in N1398. (Note: it is convenient to put it together with all resolution.)

**Resolution 2023-02** Six-months limit date extension for ISO 8601-2:2019/CD Amd 1.

TC154 approves a 6-months project limit date extension for ISO 8601-2:2019/CD Amd 1 as per the result of voting on Document N1402 as **Resolution 2023-02**

TC 154 plenary restates the resolution by referring to the voting result shown in N1407. (Note: it is convenient to put it together with all resolution.)

**Resolution related to JWG 1**

**Resolution 2023-03** Adoption of JWG1 title change into “ISO/UNECE joint working group for EDIFACT syntax”.

Considering the proposed title change from JWG1 to reflect the equivalence of both organizations much better, ISO/TC 154 resolves to adopt the title change of JWG1 into “ISO/UNECE joint working group for EDIFACT syntax”.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution related to WG 5**

**Resolution 2023-04** ISO/TC154 resolves to provide a recommendation to National Bodies to vote to revise ISO 8601-1:2019 and ISO 8601-2:2019 in the upcoming systematic review in 2024 in order to incorporate published Amendments and errata, and encourages ISO/TC154 members to provide comments on these standards.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution related to WG 6**

**Resolution 2023-05** Adoption of DTR ballot for ISO/WD TR 19626-3“Processes, data elements and documents in commerce, industry and administration —Trusted communication platforms for electronic documents — Part 3: Blockchain-based implementation guideline”

Considering that only editorial comments were received on WDS, ISO/TC 154 requests WG6 to further modify the draft, and resolves to skip CD consultation ballot and initiate a DTR ballot before 28 Feb 2024 The resolution was approved by 6 approval votes and 1 abstain vote (BSI).

**Resolution 2023-06** Adoption of a revision of ISO 14533-3, Appointment of Mr. Masashi Sato (JISC) as the project leader, request ISO/CS to register it as a Working Draft (stage 20.00), and adoption of CD ballot for ISO 14533-1 before March 2024

ISO/TC154 resolves to revise ISO 14533-3:2017 without scope expansion, and request ISO/CS to register

it as WD stage 20.00 with 24 months development period, with following target dates: CD ballot 2024-03-30, DIS ballot 2024-09-30, FDIS submission (if required) 2025-05-30 and publication is 2025-09-30; its project leader is Mr. Masashi Sato (JISC), and the project will support SDG9. The resolution was adopted by unanimity.

### **Resolutions related to WG 7**

**Resolution 2023-07** Adoption of NWIP ballot for ISO/PWI 20195“Technical requirements for blockchain implementation in industrial internet”

ISO/TC 154 resolves to initiate a NWIP ballot for ISO 20195 before 28 Feb 2024. The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-08** Adoption of NWIP ballot for ISO/PWI 20180 “Guidelines on risk-based product quality data interchange in e-commerce”

ISO/TC 154 resolves to initiate a NWIP ballot for ISO 20180 before 28 Feb 2024. The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-09** Adoption of the second NWIP ballot for ISO/PWI 16320-1“Documents and processes in e-commerce — Smart contract-based B2B electronic transaction execution and verification — Part 1: Reference model”

Considering that the voting result of first NP ballot in N1410 (Form6) and N1408 (comments disposition), ISO/TC 154 resolves to initiate the second NWIP ballot for 8-weeks for ISO 16320-1 before 5 Nov 2023, and encourage TC members to actively participate in the project.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-10** Appointment of Ms. Wenqu Chen from SAC as WG7 secretary.

The resolution was adopted by unanimity.

### **Resolutions related to JWG9**

**Resolution 2023-11** establishment of JWG9 with the title of “ISO/UNECE joint working group for information exchange of supply chain aligned to UN/CEFACT semantics” and encourage experts to actively participate in JWG9.

Considering that the voting result in N1412 and the official confirmation of UNECE on 7 Sep 2023, ISO/TC154 confirm the establishment of JWG9 with the title of “ISO/UNECE joint working group for information exchange of supply chain aligned to UN/CEFACT semantics”, and encourage TC members to nominate the experts to actively participate in JWG9.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-12** Appointment of Ms. Yan Zhang from UNECE side and Mr. Jim Wilson from TC154 side as the co-conveners of JWG9, and Mr. Kevin Bishop as JWG9’s secretary, their term will be expired at the end of 2026.

Considering that the establishment of JWG9 and the nomination from UNECE side for co-convener and secretary of JWG9, ISO/TC 154 resolves to nominate Ms. Yan Zhang from UNECE and Mr. Jim Wilson from

TC154 as the co-conveners of JWG9 and Mr. Kevin Bishop as JWG9's secretary, their terms will be expired at the end of 2026.

The resolution was approved by 7 approval votes and 1 abstain vote (DIN).

**Resolution 2023- 13** Adoption of a revision of ISO 7372(UNTDED) and appointment of Mr. Xiang Wang from TC154 side as the co-project leader of ISO 7372(UNTDED).

Following the kick-off meeting on 25 Oct 2023, ISO/TC154 requests ISO/CS to register the revision at stage 20.00 without scope expansion, and the project supports SDG9.

ISO/TC154 resolves to appoint Mr. Xiang Wang as the co-project leader of ISO 7372(UNTDED) from TC154 side, and request UNECE to approve.

ISO/TC 154 resolves to the revision period to be 24 months, the target dates following: CD ballot 2024-04-30, DIS ballot 2024-11-30, FDIS submission (if required) 2025-06-30 and the target date for publication is 2025-11-30.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-14** Nine-months limit date extension for ISO/WD 5909.

ISO/TC154 resolves to approve a 9-months project limit date extension for ISO/WD 5909, the limit date for ISO/DIS extension to 2024-11-23, the limit date for publication extension to 2025-11-23.

The resolution was adopted by unanimity.

#### **Resolutions related to ad-hoc group**

**Resolution 2023-15** Acceptance of AHG report and disbandment of AHG

ISO/TC154 resolves to accept the AHG report (N1419). ISO/TC154 also resolves to disband the AHG and appreciate all of its experts and Mr. Cheng Chi's great contributions for the AHG report

The resolution was adopted by unanimity.

#### **Resolutions related to new proposal**

**Resolution 2023-16** Supports the idea of establishing an ISO vocabulary standard to harmonize the use of terms related to trade and transport locations

Considering a proposal proposed by Mr. Wenfeng Sun from SAC, ISO/TC 154 supports the idea of developing an ISO vocabulary standard to harmonize the use of terms related to trade and transport locations. ISO/TC 154 further requests SAC to seek the agreement from UNECE before the standard be formally proposed in ISO/TC 154.

The resolution was approved by 7 approval votes and 1 disapproval vote (JISC).

#### **General Resolutions**

**Resolution 2023-17 Extension of the term of conveners of JWG1, WG6, WG7 until the end of 2026** The terms of JWG1 convener (Mr. Anders Grangård), WG6 convener (Mrs. Jasmine Jaegyong Chang), WG7 convener (Mr. Jim Wilson) will be expired at the end of 2023, ISO/TC 154 resolves to extend their term periods until the end of 2026.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-18** Appointment of Ms. Hanane Becha as the liaison representative from TC154 to TC315, replacing the previous liaison representative Mr. Yu Shi.



ISO/TC 154 resolves to accept the proposal from UNECE to take over the responsibility as the liaison representative from TC154 to TC315, and resolves to nominate Ms. Hanane Becha as the liaison representative from TC154 to TC315, replacing the previous liaison representative Mr. Yu Shi.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-19** Establishment of an Advisory Group with the title of “liaison review”, and appoint Mr. Jianfang Zhang as the AG convener until the end of 2026.

Considering the relevance and importance of liaison membership, TC154 resolves to establish an Advisory Group (AG) with the title of “liaison review”, and the task of AG is to regularly review and encourage the liaisons to actively participate in TC154:

- to ensure the relevance and necessity with TC154;
- to ensure the liaison representatives can be connectable and communicable;
- to encourage representative actively participate in TC154 (such as meeting or comments on projects), etc.

AG members include TC committee manager, chair, one member appointed by each external A-liaison and each internal liaison.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-20** WG meetings and the 43<sup>rd</sup> plenary in 2024 to be held in South Korea hosted by KATS

ISO/TC 154 resolves that the next face-to-face plenary meeting will be hosted by KATS in October 2024, and the venue will be further confirmed by KATS at the beginning of 2024.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-21** Appreciation to Conveners

ISO/TC 154 expresses its appreciation to the Conveners of its Working Groups: Mr. Anders Grangård (UNECE), Mr. Ronald Henry Tse (CalConnect), Mrs. Jasmine Jaegyong Chang (Republic of Korea) and Mr. Jim Wilson (United States), Mr. Cheng Chi (China) for the enthusiasm and continuous effort that they provided during the last plenary period.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-22** Appreciation to TPM and EPM

ISO/TC 154 expresses its appreciation to the ISO Technical Programme Manager Mrs. Laura Mathew and ISO Editorial Programme Manager Mrs. Yvonne Chen, for the guidance, consultations and continuous effort that they provided during the last plenary period.

The resolution was adopted by unanimity.

**Resolution 2023-23** Appreciation to Meeting Host

ISO/TC 154 expresses its sincere appreciation to Ribose, CalConnect, the Hong Kong Management Association and ITCHKSAR, for hosting the WG meetings and 42<sup>nd</sup> ISO/TC154 Plenary at Hong Kong, China, and expresses its sincere appreciation to Mr. Ronald Henry Tse, Mr. Koon Wa KWAN, and Mr. Anton Strogonoff for organizing preparation of the meeting. TC154 also expresses its sincere appreciation to Ribose, CalConnect the Hong Kong Management Association, and ITCHKSAR for their excellent support of the smooth work of this Plenary.

The resolution was adopted by unanimity.